

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街内のいろいろな大型開発物件が前向きに進んでいる。年末年始、かなりのにぎわいになる。
		通信会社（管理担当）	・今後、新端末の販売が開始されることや、11月下旬からの販売方法の変更による買い控えが現在起こっており、その反動が2～3か月先に予想されることなどにより、やや良くなる。
		ゴルフ場（従業員）	・予約は間際になってキャンセル等が出て若干苦戦しているものの、週末・平日共に徐々に埋まってきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・客足に活気が出つつあるが、それほどは変わっていない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・例年秋から冬にかけて売上が伸びるが、大型店の出店が多く、1店舗当たりの売上がどんどん低下している。12月は年末に向けて結構かき入れ時だが、大型店が安売りをするので心配である。
		百貨店（営業担当）	・前年に比べ秋物商品の動きが見られない。特にファッション商品群については、展開は平年どおりだが客が付かない。また、インポート商品も値ごろ商品の動きが少ない。
		スーパー（店長）	・前月に続き、大手建設業の倒産による連鎖倒産などがあり、好転するような外的要因が全くない。
		衣料品専門店（経営者）	・相次ぐ競合店の出店や気温の影響による低迷が続いている。消費者が儉約に徹しており、当分の間は前年割れの状態が続く。
		家電量販店（営業担当）	・冷蔵庫、洗濯機などが例年より思うほど伸びなかったため、全体の売上が低迷している。客の反応も弱く、期待通りの数字になるのは難しい。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン代の高騰、地方景気の低迷など景気が上向く要素があまり見当たらず、回復は見込めない。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格の上昇が続けば、小型車の販売は厳しい。
		乗用車販売店（従業員）	・来客数・販売量共に、前年・例月比で非常に悪く、良くなる理由がない。
		乗用車販売店（管理担当）	・車の販売は前年割れが続いている。長期間使用している客も、まだ乗れるからという回答が多く、成約できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・12月には主力車種がモデルチェンジするが、今月もおそらく前年割れであり、新型車効果はあまり期待できない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が、計画したようには伸びない。
一般レストラン（経営者）	・週末以外は客の足音がしない。		
観光型旅館（経営者）	・忘年会などの予約は、今のところは例年よりあまり良くない。比較的安い料金で忘年会をしようとしている。		
設計事務所（所長）	・土地や不動産の動きが鈍く、動きがあっても東京からのファンドや資金での動きにとどまっている。		
やや悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・経費・仕入価格の上昇が、収益を押し下げる。	
	スーパー（店長）	・今後、食品品を中心に値上げが続く。値上げ分がそのまま売上になればいいが、先行きは不透明である。	
	スーパー（店長）	・単価の低いものへのシフト、購入点数の減少が顕著にみられる。	
	スーパー（企画担当）	・11月からパン・ラーメン等食品価格の値上げが発表されており、店頭価格への影響も出てくる。店頭価格を抑えれば企業収益が悪化するし、店頭価格が上がれば消費動向に直結するなど、板挟みである。	
	家電量販店（店長）	・商品単価が非常に低くなっている。	
	都市型ホテル（経営者）	・来月より先の予約状況が悪い。消費動向は非常に低迷している。	
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・地方の中心地区の人通りは少なく、特に個人商店や飲食業の売上は大きく減少している。また、建設業において企業規模の縮小や従業員の収入減少が目立つ。この状況は今後も変わらない。むしろ事業の廃業等が顕在化してくる。	
		・原油高によるガソリン代の高騰や電気代の値上げ、食品の値上げで買い控えが起きている。	
企業	良くなる	-	-

動向 関連	やや良くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・周辺で大型の設備投資が行われており、受注の見込みがある。また、オリジナル商品である特殊噴霧乾燥機の注文も入っており、忙しくなる。
	変わらない	通信業(支店長)	・新しい販売方法が導入され、当初は市場が活性化される。
		食料品製造業(従業員)	・値上げ等の交渉の部分で問題点が出てきており、今後良くなるか懸念が残る。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・下水道維持管理や産業廃棄物処理の仕事は減少気味で、あまり期待が出来ないが、来月から期末受注に向けての動きが出てくる。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・建築基準法の変更により認可が遅れていたビル建築だが、ここにて認可が大量に出始め着工件数が急増している。相変わらず大型クレーンの供給不足から需要が供給を上回っており、しばらくはこの状況が続く。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・依然、価格競争が厳しい。
		建設業(経営者)	・仕事は取れても、受注価格が非常に低い。
		通信業(営業担当)	・年末年始に向けイベント等も多くなり、個人消費が伸びるとの期待の声も聞く。しかし、原油の高騰でガソリン・灯油などの値上がりの影響により、現状のまま新年を迎えそうとの悲観的な声を聞くことも多い。
やや悪くなる	広告代理店(経営者)	・広告予算は新聞広告等のマス媒体を中心に削減傾向が続いており、今後も回復は難しい。	
	公認会計士	・景気が良くなると判断している経営者はほとんどおらず、設備投資にもあまり積極的でない。景気が落ち込むのではないかと不安を持ちながら経営をしている。資金繰りにしても、十分に良くなっているという企業は非常に少ない。	
	輸送業(役員) 不動産業(経営者)	・燃料価格の動向が不透明であり、運賃転嫁が容易でない。 ・中古住宅や宅地の売買、あるいは新しい分譲マンション、新しい戸建ての販売等、非常に厳しい。同業者も同様である。	
悪くなる	建設業(総務担当)	・建築基準法の改正による認可遅延により、元請・下請共に、今後資金繰りに支障をきたすのではないかと心配である。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	学校[大学](就職担当)	・事業所の採用が進み始め、少し期待が持てる。
	変わらない	職業安定所(職員)	・新規求職申込件数・新規求人数共に減少傾向で推移していることから、先行きもあまり変わらない。
	やや悪くなる	人材派遣会社(支店長)	・派遣登録・紹介求職者の数は減少傾向である。
		職業安定所(職員)	・求人している企業に聞くと、原油の高騰、それに伴う原材料高に伴い経営が厳しく、まだしばらくこの状況が続くという声が多数聞かれる。
悪くなる	職業安定所(職員)	・正社員雇用を求め、失業期間の長期化が見られる。	